
真・恋姫†無双～転生!?!・神様は…～

白黒山羊

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

真・恋姫†無双〜転生！？・神様は…〜

【Nコード】

N1684Z

【作者名】

白黒山羊

【あらすじ】

主人公が！？ 神様は…ガキ！？

第0話エピローグ（前書き）

俺は…どうしてこんなところに！？

第0話 エピローグ

「こ…ここは？どこだ…？」

俺は天上も地面ない真っ暗なところにいた。

「てっか！俺は学校に遅刻になりそうになって！！グッ…」
頭に激痛が走った。

「それより…ここを出なきゃ「ちょっと待った！！」うん？」
後ろから声が聞こえた。振り向くとそこには…身長が145？髪は
ベリーショートの子見たいな子がいた

「なんだ…ガキかぁ…俺は夢で見てるのか…」

「なあ！？ガキ！！今の言葉グッサリ来ましたよ！！ブロックハ
トですよ！！」

あーうるさいな！なんなんだよこいつは！

「よく聞いてくれた！僕は…「神様なんて、ほざいたらかなり痛い
お仕置きするからな」泣いて良いですか？」

なんだ？こいつは？この反応からして一様神様なのか？まあいいや
「はぁ…で！何で俺がここにいるんだ。」

自称神様？に俺は問いかえる

「だ・か・ら！僕は神様なんです！自称じゃないです！！」

「なんで俺の考えてることを読めるんだよ！」

「それは僕がかみ…あの…なんで僕を寝かせるんですか？「コイツ

の腕を俺の方に持ってきて…」十文字固めじゃないですか？ギャアア？…」

~~~~~

「なんで俺はここにいるんだ？」  
俺は自称神様に質問する。

「だから！貴方は死んだんです！！分かりますか！！その小さな脳ミソで分かりますか！！…ごめんなさい…」

全く…なぜ俺は死んだんだ？

「それはですね、貴方は事故に合ったんですよ。学校に行く途中にトラックにバーンって引かれました（笑）」

『マジかよ…』

「マジですよ？」

はぁ…俺の人生ここまでかぁ…

「心配することはありません。」

『なんでだよ…』

「そんな迷える子羊にチャンスあげようかと思ひまして！」

『嬉しいが迷える子羊じゃないし、さっきの引かれました（笑）、マジですよ？頭にきた…まあそれは置いてだな…』

「貴方を生き返らせて上げます！しかし…方法は一つしかありません」

『なんだよ…それは？』

「それは…あなたが三国志で生きていくことです。」

『三国志ってあの魏の曹操・蜀の劉備・呉の孫権だろ？』

「そうですよ！その三国志で生きていくことです！！」

『三国志か…おもしろそうだな、決めた俺は行ってやる！』

「わかりました！ブイブイ！でわでわ神様からプレゼントしますね。」

『プレゼント？』

「あなたの好きな願いを叶えてあげちゃいますよ！ブイブイ！」

『なら一つは武器は刀だ…二つ目は…三つ目は……だな』

「わかりました！ブイブイ！でわでわ貴方はコレから赤ちゃんに生りますのでよろります！」

『分かった、何かあったら呼ばねよけどな（笑）』

「えゝ読んでくださいよ！」

『分かったよいつか呼んでやるよ』

俺は眠るように目を閉じた…

## 第0話エピローグ（後書き）

どうも～白黒山羊です～

はじめての投稿に手間取りました～（笑）

夢主の名前は？

神様は：なんでガキなんだよ！！

今考えた貴方は：負けですよ～（笑）

旅は始まったばかりですよ～



## あれから…十年

俺は・は海<sup>かい</sup> 名は威<sup>い</sup> 字は雲<sup>うん</sup> 真名は…

「葵！…！稽古を始めろぞ！」

『はい！お父様！』

今の人は俺の親父真名は慈露<sup>じろ</sup>中々の武将なのだ。剣を始め槍・弓を使いこなせる。性格は…抜けている所がチラホラ？

「あらあら…あまりあまり無理なさらないでください」

今の人は俺のお母様の真名は美香<sup>はるか</sup>こちらは昔どこかで軍師をしていたらしい頭の回転だけは家の中ではピッカ1 性格は…うつとりしていてかなりのお馬鹿

「葵！…！力を抜け！…！剣に吞まれるな！」

『はい！…！お父様！…！』

~~~~~

夜…お父様とお母様に呼ばれた

「葵…これから旅に行きなさい」

『えっ？』

「えっ？…じゃないわよ」

「えっ？…じゃないだろ」

「いいか、葵…お前は…この国を知らない国について知ってこい。」

「そうよー葵ちゃんー国ついてもっと知りなさいー」

『ですが！「口調を戻せ」はい…』

そう、この口調はいつもの俺ではない…いつもは

『待って！なんでこの歳なんだよ！！』

そう、いつもは「親父と母さん」のツツコミ役なのだ。

「だからこそなんだよ、国をしり、己を高めるのだ」

『いやいや今絶対に「やだなんて言えないわよー葵ちゃんー」はい！！そこ！ちゃん付けない！！』

「ふえーん慈露くんー葵ちゃんがーふえーん」

「コラ葵、母さんを泣かすな。」

『す、すみません…って何でだよ！今のは俺が悪いのか！？』

もうー！なんだよ！整理すると？国についてもっと知ること？武人としての力量をしりさらに強くなるところか…

『あー分かったよ…行けば良いんだろ！』

「そうだ。」

「わーい、葵ちゃんが聞いてくれたー」

『ちゃん付けるな』

「ぶくケチ」

『ケチじゃないからなでいつから行けば良いんだよ』

「「今すぐ（ゝ）」」

『はぁ！？お前ら！！マジでなんなの！？』

愚痴を言いながらも渋々行くことにした。

『ではお父様、お母様行ってきます！』

「いてこい！」

「体には大切にゝしてくださいね葵」

『だからちゃんは…いや何でもないわ』

初めて母さんから葵って言った。嬉しいやら寂しいやら複雑な気持ちだった。

俺は旅に出た…

あれから…十年（後書き）

どうも白黒山羊です

二話目ですね・

これからよろしくお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1684z/>

真・恋姫†無双～転生!?!・神様は…～

2011年12月6日15時46分発行